

発展的評価項目＜独自評価項目＞

～事業所におけるサービスの質の向上のためのシステムについての評価結果です～

事業所名：かしわ台あおぞら保育園

取り組み

縦割り保育と子どもの学び

取り組み期間

3年6月～9月

PDCA	取り組みの概略
「P」 目標と 実践計画	これまで縦割り保育は、1月～2月下旬に期間限定で行っていたが、年間を通して他のクラスと交流し、触れ合いを深めることで、子ども同士が刺激し合い、学びも増えることから、年間を通して行うこととした。「縦割り保育と子どもの学び」をテーマにあげ、「思いやりの心を育む」ことを長期目標とし、「それぞれのグループ内で交流を深める」ことを短期目標として、計画を作成した。具体的には、月に2回「縦割り保育日」を作り、それぞれのグループ（4組）で、子どもを主体とした保育を心掛けて進めることとした。縦割り保育は、3～5歳児を対象として、各グループ10人前後の編成とした。活動の内容を保育士が決めるのではなく、子どもたちに「どんなことをして遊びたい」か問い掛け、子どもたちがやりたいことを吸い上げることとした。取り組みの内容は、職員会議などで職員に説明して、共有を図った。
「D」 計画の実践	それぞれのグループが、子どもたちから挙げた、魚釣りの魚作り、コマ作り、テニスのラケット作りなどに取り組んだ。7月には出来上がった制作品を使って遊ぶこともできた。保育士は材料だけを提供し、あくまでも子どもたちが主体的に活動するのを見守った。
「C」 実践の評価	大きな子どもは、小さいこどもの面倒をみたり、自分がしっくりしないと進まないという責任感も生まれた。普段は消極的で意見を言わない子どもも張り切って参加していた。小さい子どもは、大きい子どもの動きを、憧れの気持ちで眺め、早く大きくなりたいと感じていた。
「A」 結果と 改定計画	今回の取り組みは、当初2月までを予定していた。8、9月にコロナの緊急事態宣言が発令され、密を避けるため、活動は中断せざるを得なかった。そこで、宣言解除後の再開を目指し、これまでの活動を振り返った。今回、子どもたちの活動内容は制作に集中した。子どもたちの主体性を尊重し、保育士は見守ることとしたが、どこかで保育士の声の影響した可能性もある。一グループの活動が、公園への散歩でも良かったはずである。「子どもの主体性の尊重」について、あらためて会議などで振り返りを行い、子どもたちが自分で決め、楽しんで活動できるよう、今後も継続して取り組んでいくこととした。

＜第三者評価コメント＞

縦割り保育の中で、子どもの主体性を尊重した保育に取り組んでいる。取り組みはコロナ禍で一時中断したが、継続することのことで、今後の活動の成果に期待する。

課題抽出項目＜独自評価項目＞

～内容評価項目について、次への取り組みを事業所が検討した結果です～

事業所名：かしわ台あおぞら保育園

内容評価項目の＜A5:子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している＞と、＜A20:保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている＞を取り上げ、今後の具体的な取り組みを検討した結果です。

事業所による取り組み

<p>＜A5:子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している＞ ＜A20:保育士等が主体的に保育実践の振り返りを行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている＞</p>	<p>自己評価の内容</p>	<p>＜現在の状況＞ 内容評価項目に記載した通り、散歩や遊びの中で、子どもの興味や疑問を尊重して、子どもたちのやりたい気持ちを大切にしている。また、保育士全員が自己評価に取り組み、研修会に積極的に参加するとともに、子どもの行動や意味、子どもの興味や関心を読み取り、保育の振り返りや見直しを行っている。 ＜気づきの部分＞ 項目の内容については概ねできているが、子どもが主体的に考え行動する機会を意図的に作る必要がある。一斉保育の中でも、一人ひとりの子どもの意見に耳を傾けられるよう、また、今子どもたちが求めている遊び、興味ある物など、日々の保育の中で探求する力が保育士に求められる。定期的に園内研修を行い、保育士が学び合う場を作ることが重要となる。</p>
	<p>自己評価で気づいたことについての今後の具体的な取り組み</p>	<p>＜今後の具体的な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まずは発展的評価項目でも取り上げた縦割り保育を継続して行う中で、子どもの主体性を尊重した保育に取り組む。 ・毎月の職員会議の場で、縦割り保育の状況、進行具合を職員で共有して、意見を出し合い、子どもたちが主体的に活動できるよう、よりよい方向を検討していく。子どもの主体性の尊重について、職員全体で勉強していく。

＜第三者評価コメント＞

発展的評価項目同様、縦割り保育を通して、子どもの主体性を尊重した保育に取り組んでいる。今後は、日々の保育場面でも主体的な保育を展開できることに期待する。